

令和4年度第2回自動車整備技能登録試験〔学科(口述)試験〕

第106回〔一級小型自動車〕

令和5年5月14日

12 問題用紙

【試験の注意事項】

1. 試験は問題1と問題2があり、試験時間はそれぞれ5分です。問題1が5分以内に終了した場合、試験開始後5分のブザー吹鳴まで問題2には進めません。
2. 試験開始のブザー吹鳴と同時に試験時間がカウントされるので、入室後は速やかに氏名(フルネーム)を申し出て、問題1に進みなさい。
3. 試験中、試験委員に対して受験者としてふさわしくない言葉づかい・態度があつた場合は、減点の対象となります。
4. 試験終了後は、この問題用紙を持ち帰ってください。

【不正行為等について】

1. 携帯電話等の電子通信機器類は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいてください。
2. 試験時間中(試験会場内)において、携帯電話等の電子通信機器類を使用した場合は、不正の行為があつたものとみなし、試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。
3. 登録試験に関して不正の行為があつたときは、当該不正行為に関係ある者について、その試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。

この場合において、その者について、3年以内の期間を定めて登録試験を受けさせないことがあります。

問題 1. サトウ様は、「走行中に大きな音が発生する。」という症状の点検を依頼するため、本日、自動車に乗って整備工場を訪れた。下記の情報をもとに、依頼に関する「基本的な問診」を実施しなさい。

なお、問診後に試験委員が点検方法などについて質問するので答えなさい。

続いて、自動車特定整備事業者の事業場において、法令で掲げるよう定められている「標識の色」について、試験委員の求めに応じて回答しなさい。

[自動車に関する情報]

自動車の種類	小型四輪自家用乗用車	
初度登録年月	平成 24 年 11 月	
エンジン	電子制御式ガソリン・エンジン	
総排気量	1.5 L	
駆動方式	FF 2 WD	
トランスミッション	CVT	
サスペンション	フロント	独立懸架式ストラット型
	リヤ	車軸懸架式トーション・ビーム型
ブレーキ	フロント	ディスク式
	リヤ	ドラム式
年間走行距離	約 8,000 km	
総走行距離	84,000 km	
自動車の乗車定員	5 人	
その他	この自動車は、平日は通勤に、土日は買い物に使われている。	

メモ欄

問題 2. タナカ様から、「エアコンの風が弱い。」及び、「運転席のパワー・ウインドがオート作動しない。」という故障の修理と、「1年定期点検整備」及び「日常点検整備」の依頼があり、必要な点検整備作業を行った。

1. 試験委員の指示に従って点検整備記録簿の情報をもとに、次の(1)～(2)の順序で説明しなさい。

- (1) 依頼された故障の内容、修理内容及び修理後の確認結果について
- (2) 点検整備記録簿の次の項目について
 - ① 交換した項目
 - ② 調整及び測定の数値のある項目

なお、試験の都合上、以下のとおり留意して下さい。

- ① 点検整備記録簿、交換部品を試験委員に向けて説明する必要はない。
- ② 点検整備記録簿には必要事項を書き込んでもよい。
- ③ 整備保証の適用及び整備料金の説明は行わなくてよい。

2. 上記「1. (1)～(2)」の説明終了後、試験委員が「自動車用エアコンの代替冷媒」について質問するので答えなさい。

〔情 報〕

1. 自動車に関する情報

自動車の種類	小型四輪自家用乗用車	
初度登録年月	平成 25 年 5 月	
エンジン	電子制御式ガソリン・エンジン	
総排気量	1.5 L	
駆動方式	FF 2 WD	
トランスミッション	CVT	
ブレーキ	フロント	ディスク式
	リヤ	ドラム式
年間走行距離	約 6,000 km	
総走行距離	60,000 km	

2. 点検整備作業等

- (1) 「エアコンの風が弱い。」及び、「運転席のパワー・ウインドがオート作動しない。」という故障の修理と1年定期点検整備及び日常点検整備を実施した。(作業内容は点検整備記録簿のとおり)
- (2) エンジン・オイルとオイル・フィルタはタナカ様の依頼により交換した。
- (3) 故障修理での部品交換は、タナカ様に連絡して了承を得てから行った。

特定整備記録簿(1年定期点検用点検整備記録簿写)

点検の結果及び整備の概要

(☆は1年、5,000km以下の走行距離によって省略できる項目)
(※OBDとは車載式故障診断装置を示す。)

点検 良好	✓	交換	✗	調整	A	清掃	C	省略	P
特定 整備	○	修理	△	締付	T	給油 (水)	L	該当 なし	/

エンジン・ルーム点検	
■パワー・ステアリング ベルトの緩み、損傷	冷却装置 ファン・ベルトの緩み・損傷 冷却水の漏れ
室内点検	
■ブレーキ・ペダル 遊び 踏み込んだときの床板とのすき間 ブレーキの効き具合	■ディスク・ブレーキ ☆ ディスクとパッドとのすき間 ☆ ブレーキ・パッドの摩耗
■点火装置 ☆ スパーク・プラグの状態 (白金プラグ、イリジウム・プラグは点検省略可)	■ブレーキ・ドラム ☆ ドラムとライニングとのすき間 ☆ ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの摩耗
点火時期 ディストリビュータのキャップの状態	
■バッテリ ターミナル部の緩み、腐食	■パーキング・ブレーキ・レバー・ペダル 引きしろ(踏みしろ) パーキング・ブレーキの効き具合 9→6ノット
■エンジン 排気ガスの色 CO、HCの濃度 ☆ エア・クリーナー・エレメントの汚れ、詰まり、損傷	■クラッチ・ペダル 遊び 切れたときの床板とのすき間

●CO、HC濃度 (アイドリング時)	CO 0.1 %
HC 10 ppm	

●タイヤの溝の深さ (1.6mm以上)	前輪 左 5.6 mm 右 5.5 mm
●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ	後輪 左 5.3 mm 右 5.4 mm
	前輪 左 7.1 mm 右 7.2 mm
	後輪 左 3.8 mm 右 3.7 mm

依頼者(使用者)の氏名又は名称 タナカ	自動車登録番号又は車両番号 省略
住所 省略	点検(整備)時の総走行距離 60,000 km

足廻り点検	
■ディスク・ブレーキ ☆ ディスクとパッドとのすき間 ☆ ブレーキ・パッドの摩耗	■ホイール210→230kPa リヤ190→210kPa ☆ タイヤの空気圧 ☆ タイヤの亀裂・損傷 ☆ タイヤの溝の深さ、異常摩耗 スペア・タイヤの空気圧 ☆ ナット・ボルトの緩み 390→420kPa
■ブレーキ・ドラム ☆ ドラムとライニングとのすき間 ☆ ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの摩耗	■ブレーキのマスタ・シリンダ、ホイール・シリンダ、ディスク・キャリパ マスタ・シリンダの液漏れ ホイール・シリンダの液漏れ ディスク・キャリパの液漏れ マスタ・シリンダ ディスク・キャリパ ホイール・シリンダ
下廻り点検	
■トランスミッション・トランスファー ☆ オイルの漏れ ☆ オイルの量	■エンジン・オイル 漏れ
■ブレーキ・ホース、パイプ 漏れ、損傷、取付状態	■ブレーキ装置 ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷 ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷
■エキゾースト・パイプ、マフラ ☆ 取付けの緩み、損傷、腐食 ☆ 遮熱版の取付けの緩み、損傷、腐食	■サスペンション、動力伝達装置等 サスペンションの取付け部、連結部の緩み、がた、損傷 ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツ部の亀裂、損傷 燃料漏れ

車載式故障診断装置点検	
OBDの診断の結果 ※	✓
日常点検	
ブレーキ液の量	✓
バッテリ液の量	✓
冷却水の量	✓
エンジン・オイルの量	✗
エンジンのかかり具合、異音	✓
低速加速の状態	✓
ヘッドランプ、ストップ・ランプ、ウインカ・ランプ等の点灯、汚れ、損傷	✓
ウインド・ウォッシャ液の量	✓
ウインド・ウォッシャの噴射状態	✓
ワイパーの拭き取り状態	✓
厳しい使われ方をした場合のメーカーの指定する点検	
■ステアリング装置 ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み ロッド、アーム類のボールジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷	
■ブレーキ装置 ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷 ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷	
■サスペンション、動力伝達装置等 サスペンションの取付け部、連結部の緩み、がた、損傷 ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツ部の亀裂、損傷 燃料漏れ	

交換部品等	数量
エンジン・オイル	2.8 L
オイル・フィルタ	1
エアコン・フィルタ	1
パワー・ウインド・モータ	1

メンテナンスに関するアドバイス
省略

点検年月日 令和5年5月14日	次回点検年月日 令和6年5月 日
整備完了年月日 令和5年5月14日	整備主任者の氏名 省略

問題2 交換部品等

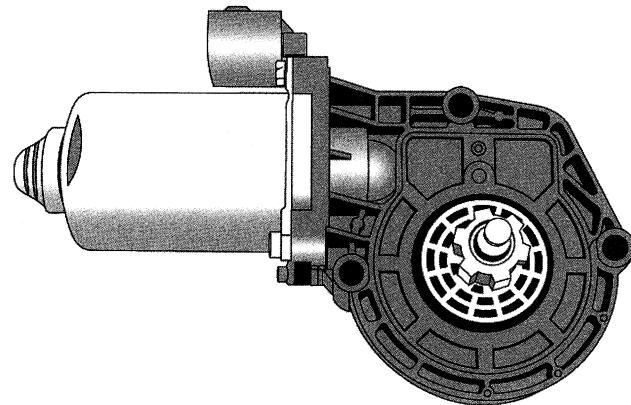
●エンジン・オイル

(図は省略)

●オイル・フィルタ

(図は省略)

●パワー・ウインド・モータ



●エアコン・フィルタ

